

安全・景観・環境を提案する“群交協”

第85号

群交協だより

URL:<http://www.gunkoukyou.com/>

令和7年1月10日 発行

発行

群馬県交通安全施設業協同組合

前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 久保田 雅之

編集発行人 南雲淳司

群馬県交通安全
施設業協同組合

理事長

久保田 雅之

群馬県知事
山本 一太

明けましておめでとうございます。
県民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、改めて気持ちを引き締め、県政の基本政策として掲げている「県民幸福度の向上」「新群馬の創造」「群馬モデルの発信」の実現など、新・群馬県総合計画の推進に全力を尽くしていく所存です。

昨年は、選抜高校野球大会で高崎健康福祉大学高崎高校が群馬県勢初の優勝を果たしました。またパリオリンピックでは、群馬県ゆかりの選手たちがメダル獲得や入賞など、大きく活躍しました。若者たちの活躍が私たち県民に勇気と大きな感動を与えてくれた一年だったと思います。佐賀県で開催された国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会においても、本県選手団が実力を十二分に發揮し、たくさんの競技で優勝を飾りました。

県政においても、県立小児医療センターの群大病院隣接地への移転決定や移住者希望地ランキング全国一位への躍進、信越化学など企業の大規模投資案件が数々決定するなど、群馬県が大きく飛躍する一年となりました。また県内十二地域で開催した「未来構想フォーラム Next Stage（ネクストステージ）」では、延べ約六千人の方にご来場いただき、群馬県の未来や地域の課題について、貴重なご意見をいただきました。さらに、十一月に草津温泉で開催した「湯けむりフォーラム2024」では、二日間で過去最高となる延べ一、一七八人の各界トップブリーダーなどに参加いただき、胸襟を開いた熱い議論から、社会や地域の課題を解決するための新たなアイデアや価値を創出し、群馬モデルとして国内外に発信しました。

今年は将来の新たな富の創出に向け、「製造業」と並ぶもう一つの産業として、群馬県

あけましておめでとうございます。

会員各位におかれましては穏やかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げますと共に、平素より当組合活動に格別のご理解とご支援をいただいております事を心より感謝申し上げます。

『ぐんま・県土整備プラン』における『誰もが安全・快適に移動できる社会の実現』に向け、群交協は社会基盤を支える重要な役割を担い果たします。安全施設のひとつひとつが精密かつ確実に機能しなければなりません、そのため、日々、業務の品質向上を図るとともに、現場での安全意識をさらに高めて行くことが求められます。これからも私たちの使命である『安全を守る』ための活動を一層強化し、さらに充実した活動を展開していく中で、新たな技術の導入や環境の変化に対応するため、研修や情

報交換を活発に行い、常に、時代のニーズに応えられる組合を目指していきたいと考えております。

また、昨今の社会情勢や経済環境の変化に対応しながら、組合員皆様の経営基盤をさらに強くするために、協力体制を一層強化し、【相互扶助】の精神を大切にしてまいります。今後も、当組合が安全で安心な社会作りに貢献できますよう、さらなる努力を重ねていく所存です。

今後も、当組合が安全で安心な社会作りに貢献できますよう、さらなる努力を重ねてまいります。

本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

独自のコンセプトである「デジタル・クリエイティブ産業」の創出を目指します。この産業の振興は、県内の幅広い産業の発展にもつながる、大きな可能性をもつていると考えています。

また子どもたちの非認知能力の育成やインクルーシブ教育の普及、多文化共生・共創の推進、医療提供体制の拡充や福祉施策のさらなる充実、災害レジリエンスの強化や安全安心を支える社会基盤整備など、県民の皆さまに身近な施策を着実に進めています。

「ぐんまフラワーパーク」のリニューアルオープンや、アジア初となるデジタルクリエイティブ人材育成施設「TUMO Gunma（ツーモグンマ）」のオープンも控えています。これらの施設がオープンした後、多くの皆さまに利活用いただけるよう全力を尽くすことをお約束します。加えて「TUMO Gunma（ツーモグンマ）」、tsukurunに続く人材育成機関（仮称）デジタルクリエイティブスクール構想についても、しっかりと検討を進めていきたいと考えています。

知事就任以来、限られた資源で最大限の効果をあげる「ワイスペンディング」を実践してきました。引き続き県民の皆さまとの対話を大切にして、広くご意見を伺いながら、民間リソースの活用や、自ら「稼ぐ」施策、デジタル化による行政改革などを積極的に進めます。それによって財源や人的資源を生み出し、新たな富の創出に向けた未来への投資や、持続可能な成長の促進、ひいては県民幸福度の向上につながる取り組みに集中させていきます。

新しい年が、県民の皆さまにとって幸多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和七年一月一日

第31回 交通安全施設研究会

令和六年十月二十九日(火)前橋問屋センター会館において、組合員及び賛助会員のか、各関係官庁職員の皆様をお迎えして「第三十五回交通安全施設研究会」を開催しました。

冒頭に、当組合の久保田理事長が「皆さまの現場に役立つ情報を提供し、安全対策の推進に寄与できるよう努めていく」と挨拶を述べました。

その後に講演へと移り、まず群馬県警察本部交通部交通規制課の丁名塚直人課長補佐から「交通安全対策について」を講演をいただきました。次に、群馬県県土整備部道路管理課交通安全対策室の田島雅貴交通安全係長から「中高生の自転車事故対策について」をテーマにご講演いただきました。当賛助会員スリーエムジャパン株式会社コマーシャルプランディング&トランスポーテーション事業部トランスポーテーションセーフティ販売部荒木祐二アカウントマネージャーが、「道路標識の劣化と維持管理」を発表し、最後に日之出水道機器株式会社 北関東支店 道路／橋梁担当担当マネージャー田口英毅氏、鳥山悟史氏が基礎に関する製品説明について解説しました。

県民の安全安心を守る群馬県交通安全部として、関係行政の皆様と共に新しい技術を勉強し、情報共有を図り、技術向上を心掛け、邁進して参ります。



第31回 つり大会

群馬県交通安全施設業協同組合青年部会主催の第三十一回釣り大会を、令和六年九月七日(土)に、前橋市柏倉町の『大崎釣り堀』にて開催しました。

絶好の行楽日和となり、組合員・協賛会員とその家族の、友好と親睦を深める目的の釣り大会も、今年で三十一回を迎えることが出来ました。

総勢四五〇人の歓声や子供達の笑顔が溢れる中、終始賑やかな一時を過ごすことができました。終盤、池の水を抜いての掴み取りでは子供達が一生懸命に魚を追いかける微笑ましい一幕もあり、その後無事に閉会する事が出来ました。

組合員及び家族の皆様のご協力により、かつて無い額の募金を戴きました。この場を借りて感謝とお礼を申し上げます。

次回開催においても、さらに良い行事に出来るようにしていきたいと思います。



佐藤基金への寄付

令和六年十一月二十八日(木)、交通事故により扶養者を失った子どもたちへ奨学手当などの給付を行う佐藤交通遺児福祉基金に三十二万千七百六十四円を寄付させて頂きました。

寄付金の受贈式は県庁昭和庁舎で行われ、久保田理事長から青木貴雄常務理事(=県道路管理課交通安全対策室長)に寄付金を手渡し、感謝状が贈呈されました。

組合側からは久保田理事長のほか須藤常務理事、近藤青年部理事、南雲青年部会長が出席しました。

青木常務理事は「子どもたちが未来に希望を持ち、健やかに成長してゆけるよう、今後も交通遺児を支えていくので、引き続きご理解ご協力をお願いしたい」と述べられました。

当組合では前回に引き続き、恒例のつり大会会場にて募金を募ると共に模擬店の売上を寄付させて頂きました。また、組合事務所内に募金箱を設置し、多くの支援を得ることが出来ました。協力いただいた皆様へ感謝を申し上げ、今後も組合活動へのなお一層のご協力をお願ひいたします。



■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)中井産業・富友産業(株)・(株)三積商事・(株)サンテック・サン(株)・(株)信交・(株)コムテックス・新日東(株)・群馬ライン企画(株)・(有)高崎保安機材・共進安全(株)・五菱産業(株)・昭和サイン(株)・中央ライン(株)・(株)日栄(株)日装・(株)ヒロタ・富士技工(株)・マーキングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)アークノハラ営業部販売課・(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)道路事業部・岩澤建設(株)群馬支店・信号器材(株)北関東営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トランスポーテーションセーフティ事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株)・日鉄防食(株)道路資材グループ・日之出水道機器(株)埼玉営業所・扶桑工業(株)群馬営業所・YSポール(株)高崎支社(ヨシモトポール(株))